

授業科目名	破壊と再生の歴史・人類学		
科目番号	1E02021	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	山澤 学		
授業概要	グローバルな現代文明を生きる私たちは、社会的暴力、あるいは自然災害、地球規模の環境破壊に至るまで、さまざまな形態をとる破壊に直面している。同様の状況は、人類史における過去の変革期にもしばしば出現した。本講義では、かかる変革期に発生した自然災害および戦争に注目し、それらによる破壊の状況と形態、また、破壊後における再生の方法を検証し、現代の私たちに課されている問題を考えていく。		
備考	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	E 群		
水準・区分			
教育目的	1. 変革期における社会と人間を考えるための歴史学・人類学的な知識を修得する。 2. 世界各国における社会・文化の独自性と共通性・多様性に対する理解を深める。 3. 歴史学・人類学的視野から、現代における諸問題を発見・解決する能力を養う。		
到達目標	1. 変革期における社会と人間について、論理的に記述できる。 2. 世界各国における社会・文化の独自性と共通性・多様性を的確に評価することができる。 3. 歴史学・人類学的視野から、現代における諸問題を発見・解決することができる。		
キーワード	破壊, 再生, 変革期, 社会, 人間, 現代, 歴史学, 人類学		
各回授業計画	<p>第1回【4月16日 山澤 学 人文社会系】 [破壊と再生研究序説] 変革期の社会と人間を考えるさいに破壊と再生の歴史・人類学が有する現代的意義について講義する。</p> <hr/> <p>第2回【4月23日 山澤 学 人文社会系】 [自然災害の記録と社会] 『信州浅間山焼記』(筑波大学附属図書館所蔵)を事例に、江戸時代日本の社会において、自然災害を記録した意味を考察する。</p> <hr/> <p>第3回【5月7日 木村 周平 人文社会系】 [津波とともに生きる人びと (1)] 三陸沿岸部の人びとの東日本大震災への対応について講義する。</p> <hr/> <p>第4回【5月14日 木村 周平 人文社会系】 [津波とともに生きる人びと (2)] 昭和三陸津波から東日本大震災までの間の地域の変容について講義する。</p> <hr/> <p>第5回【5月21日 木村 周平 人文社会系】 [津波とともに生きる人びと (3)] 東日本大震災を中心に、災害の記憶や風化について講義する。</p> <hr/> <p>第6回【5月28日 伊藤 純郎 人文社会系】 [テロリストの原風景 (1)] 「テロ」(破壊)という手段で国家の「再生」を試みた血盟団事件を、テロリストの故郷である常陸三浜という場から問い直す。</p> <hr/> <p>第7回【6月4日 伊藤 純郎 人文社会系】 [テロリストの原風景 (2)] 「テロ」(破壊)という手段で国家の「再生」を試みた血盟団事件を、テロリストの故郷である常陸三浜という場から問い直す。</p> <hr/> <p>第8回【6月11日 山本 真 人文社会系】 [社会の混乱と人々の生への模索 (1)] 20世紀前半期中国における軍閥混戦と社会の混乱を描く。</p> <hr/> <p>第9回【6月18日 山本 真 人文社会系】 [社会の混乱と人々の生への模索 (2)] 動乱の時代の中国における民衆の生への模索を、結社、移民、革命などから考察する</p>		

	<p>第10回【6月25日 山澤 学 人文社会系】 [破壊と再生の歴史・人類学] 本講義を総括する。</p> <hr/> <p>第11回【7月2日 山澤 学 人文社会系】 [期末試験]</p>
履修条件	1・2年生は履修できないので、注意すること。
成績評価方法	A: 期末試験 (60%)... 理解, 応用力, 創造性。 B: 授業内提出物 (40%)... 授業への興味・関心, 理解, 考察力。
授業外における学習方法	授業で取り上げられた問題について、テキストや、各講義担当者から紹介された資料・文献を精読すること。
教材・参考文献	以下の文献はテキストとして使用するので、必ず購入すること。 1. 伊藤純郎・山澤学編、『破壊と再生の歴史・人類学—自然・災害・戦争の記憶から学ぶ』(筑波大学出版会, 2016年)。 その他の参考文献は各講義担当教員から適宜、紹介する。
オフィスアワー・連絡先	火:15:00~16:30。それ以外にも事前連絡により対応可能。 人文社会学系棟 B716 yamasawa.manabu.fm at u.tsukuba.ac.jp http://www.histanth.tsukuba.ac.jp/member/yamasawa.html
履修者へのメッセージ	単に授業を聞き流すのではなく、受講者自らが問題意識を明確に持ち、独自に考察を深めてもらいたい。

授業科目名	日本とは何か III		
科目番号	IE03011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	鈴木 伸隆		
授業概要	「日本とは何か III」では、現代の私たちが自明のものとしている「日本語」「日本文化」の概念に、近年の研究動向を踏まえつつ再検討を加えることで、「日本とは何か」を考えていく。		
備考	(日開設) 日本語・日本文化学類生の履修を認めない。 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	E		
水準・区分			
教育目的	「日本とは何か III」では、現代の私たちが自明のものとしている「日本語」「日本文化」の概念に、近年の研究動向を踏まえつつ再検討を加えることで、「日本とは何か」を考えていく。		
到達目標	「日本語」や「日本文化」についての近年の研究動向を理解し、自分自身の考えを深めることを目標とする。		
キーワード	方言文法, 可能表現の変遷史, 話者の文法的感覚, 日本語の類型論的特徴, 聖なるもの, 縁起, 宗教テキスト		
各回授業計画	<p>1 回目から 5 回目までを石田尊 (人文社会系)、6 回目から 10 回目までを谷口孝介 (人文社会系) が担当する。</p> <p>第 1 回【4 月 16 日 石田 尊 人文社会系】 [日本語の再検討 1 方言文法の多様性] 日本語の諸方言に見られる、標準語とは異なる文法形式 (具体的にはアスペクト、ヴォイス、可能の形式など) について検討する。</p> <p>第 2 回【4 月 23 日 石田 尊 人文社会系】 [日本語の再検討 2 水海道方言の格の体系] 本学からもさほど遠くない地域の日本語である水海道方言について、その格助詞の体系が示す興味深い特徴を検討する。</p> <p>第 3 回【5 月 7 日 石田 尊 人文社会系】 [日本語の再検討 3 可能専用形の成立をめぐる] といわゆる「ラ抜き言葉」を含めた可能表現の変遷史を概観し、可能をめぐる現代語の状況を検討する。</p> <p>第 4 回【5 月 14 日 石田 尊 人文社会系】 [日本語の再検討 4 話者の文法的な感覚の揺らぎ] 授業の際に行うアンケートの結果などから、話者ひとりひとりの文法的な感覚の揺らぎ・ばらつきについて検討する。</p> <p>第 5 回【5 月 21 日 石田 尊 人文社会系】 [日本語の再検討 5 類型論的にみた日本語] 日本語は世界の諸言語と比べてどのような言語であるのか、語順や格、動詞形態の問題を中心に検討する。</p> <p>第 6 回【5 月 28 日 谷口孝介 人文社会系】 [宗教と文学 1 聖遺物] 聖徳太子信仰と聖遺物との存在から縁起テキストが生成する契機を考える。</p> <p>第 7 回【6 月 4 日 谷口孝介 人文社会系】 [宗教と文学 2 聖人伝] 聖徳太子伝が証明しようとするものは何か。聖人伝の聖的根拠について考える。</p> <p>第 8 回【6 月 11 日 谷口孝介 人文社会系】 [宗教と文学 3 神仏習合] 国家鎮護の宗教として仏教と習合しつつ展開する天神信仰について考える。</p> <p>第 9 回【6 月 18 日 谷口孝介 人文社会系】 [宗教と文学 4 神仏の顕現] 現人神、御霊神など神仏の現れ方と表現とについて考える。</p> <p>第 10 回【6 月 25 日 谷口孝介 人文社会系】 [宗教と文学 5 信仰心と布教] 救済を希求する純粋な信仰を起心する布教活動の所産としての「当麻曼荼羅縁起」の展開を追う。</p>		

	第 11 回【7 月 2 日 石田尊・谷口孝介 人文社会系】 期末試験
履修条件	日本語・日本文化学類生の履修を認めない。
成績評価方法	期末試験の結果から判定する。
授業外における学習方法	授業で紹介した文献を積極的に読むこと。
教材・参考文献	授業時に適宜紹介する。
オフィスアワー・連絡先	世話人ー鈴木伸隆 suzuki.nobutaka.fn@u.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	ステレオタイプな思考に陥らないで、独自の見解を展開するように努めてほしい。

授業科目名	スポーツ芸術表現学		
科目番号	1E25021	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 AB 木 6
担当教員	太田 圭, 嵯峨 寿, 田中 佐代子, 大原 央聡, 田島 直樹, 山本 美希		
授業概要	「スポーツ芸術」とは「スポーツをテーマとした芸術作品」のことで、本授業では、これらを「創る」「観る」「支える」という3つの立場から捉える。オリンピックの芸術競技をはじめとした美術史におけるスポーツ芸術、2020年東京オリンピック・パラリンピックの「文化プログラム」、現代におけるスポーツとデザインの関わり等を、アーティスト・デザイナー・漫画家等の多様な視点から学び、新しいスポーツ芸術の表現について考える。		
備考	【芸術開設】 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	E:精神、文化、社会、歴史に関わる総合科目		
水準・区分			
教育目的	「スポーツ芸術」とは「スポーツをテーマとした芸術作品」のことで、その表現について学ぶ「スポーツ芸術表現学」は、日本で初めて使われる名称です。本科目では「芸術作品を創る立場」を主としつつ、「観る目」「支える方法」を総合的に学び、新しいスポーツ芸術の表現について考えます。希望者は「リボン・アートボール」の制作によって、2020年東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムへの参加が可能です。また、あなたはかつてオリンピックの7大会に「芸術競技」があり、そのうち日本は2大会に参加し、1936年ベルリン大会では2人の日本画家の銅メダリストがいたことを知っていますか?スポーツのみで行われていると思われているオリンピックのもう一つの顔、「芸術競技」の史実と「文化プログラム」の現状について解説します。		
到達目標	まず、オリンピックがスポーツのみならず「芸術文化」と一体となって成立していることを知り、オリンピックにおける「芸術競技」の史実について理解し、他者に説明することができるようになる。スポーツをモチーフとした芸術作品やデザイン、漫画、俳句などの制作の背景を知り、それらについて評価できるようになる。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて実施される「文化プログラム」について興味関心を持ち、積極的に参加できるようになる。		
キーワード	スポーツ芸術, オリンピック芸術競技, 2020年東京大会公式エンブレム, ポスター, スポーツ漫画, スポーツ写真, リボン・アートボール, 俳句		
各回授業計画	<p>第1回【4月12日 太田 圭 芸術系, 嵯峨 寿 体育系】 【ファインアート vs ファインプレーのキックオフ】 本科目名の「スポーツ芸術表現学」は、国内では初めて用いる名称です。ガイダンスとして、「表現と再現」をキーワードとして自作例を示しながら概説します。また、「スポーツ芸術表現」を「学問」として、その創生を目指すに至った経緯とコンセプトを解説します。また2020年東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムとして実施される「リボン・アートボール」のプロジェクトと「ボール×ボール展」について紹介します。</p> <p>第2回【4月19日 野老朝雄 (アーティスト)】 【オリンピックエンブレムの「個と群と律」】 東京2020オリンピック・パラリンピックエンブレムを制作したアーティストが、「個と群と律」をテーマとした自身の制作ポリシーや、現在に至るまでの創作への取り組みと、そこに込めた想いについて語ります。</p> <p>第3回【4月26日 田中佐代子 芸術系】 【デザインとスポーツのクリエイティブ・マッチ】 スポーツのユニフォームやシューズ、ボール、観戦チケットやポスター、スタジアムのどれを取っても「デザイン」されていないものはありません。ではデザイナーたちは何をどのように考えてデザインするのでしょうか。その思考プロセスと制作の背景をビジュアルデザイナーが解説します。受講後、私たちを取り巻く様々な「デザイン」の見方は間違いなく変わります。</p> <p>第4回【5月10日 高橋周平 (多摩美術大学)】 【「的を射ること」の「美と術」】 弓道の経験者でサイクリスト、ファッション写真、広告写真にも詳しい写真芸術の研究者とともに、カメラのレンズを通した「スポーツの決定的瞬間」を美術論的に考えます。また理事を務める日本スポーツ芸術協会主催の「スポーツ写真コンテスト」での審査員経験も踏まえ、コンテスト等で「魅せること」の方法論も語ります。</p> <p>第5回【5月17日 古瀬俊介 (フリーアナウンサー)】 【実況は言葉の高速ドリブルか!!】 刻々と状況が変化するゲームやアスリートが見せるプレー。それを言葉によつて的確に「描写」「表現」しているのがスポーツアナウンサー。元、茨城放送 (IBS) のアナウンサーで、Jリーグの鹿島アントラーズや水戸ホーリーホックのゲームや、県内の高校野球の実況中継で活躍する現役のアナウンサーにその極意を聞きます。</p>		

第6回【5月24日 山本美希 芸術系】

【マンガにおけるアクションとメイクドラマ】
外国人が現代の日本文化に持っている興味の1つが「サブカルチャー」。それを代表する「マンガ」のコミックに隠された「動き」の表現の謎とテクニックを、手塚治出賞を受賞した新進気鋭の漫画家が解き明かします。

第7回【5月31日 李昇姫 芸術系】

【奇想天外もしくは奇想回転!!?】
「もしもボールに目があったら、空を飛ぶボールやグラウンドを転がるボールからは何が見えるだろう?」。この好奇心から開発されたのが、ボールに埋め込まれた「目」、すなわち小型カメラです。果たしてカメラの「目」には何がどのように写っているのでしょうか。人間と道具、空間のダイナミックな関係を楽しみながら鑑賞しながら研究につなげる可能性を探ります。

第8回【6月7日 太田 圭 芸術系】

【5-7-5は俳句のフォーメーション】
俳句は17音の最も短い詩です。1998年に開催された冬季オリンピック長野大会の際、新聞紙上でウィンタースポーツを詠んだ俳句が連載されましたが、本授業ではスポーツに関わる俳句を紹介します。本授業は受講生の皆さんにあらかじめスポーツ俳句を読んでいただきます。そして、当日この授業後に開催される「特別講演会」では、皆さんが詠んだ俳句を、講師にお招きする俳人の篤もとか氏に批評していただきます。(講演会の詳細は別途案内します)

第9回【6月21日 田島直樹 芸術系】

【描く・彫る・刷る～版画家というトライアスリート】
「わだばゴッホになる」という言葉を残した棟方志功は、1932年ロサンゼルス大会と1936年ベルリン大会の「芸術競技」に連続出品しました。当時と現代の版画表現や技法の変遷、テーマの多様化について「版画家の目」で解説します。

第10回【6月28日 大原央聡 芸術系】

【イメージから作品へのミッションとパッション】
「スポーツをテーマとした彫刻作品は?」と問えば、多くの人が《ミュロンの円盤投げ》を思い浮かべます。西洋ではドガやイタリア未来派のポッチョーニ、日本では石井鶴三などが舞踊や相撲、動きのある作品を作ってきました。自らも木彫作品によって様々な「動き」を表現している彫刻家に、「動きの表現の世界」を紹介します。

履修条件	学類・学群を問わず、「スポーツ芸術表現」に興味を持ち、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、「創る」「観る」「支える」の感性とスキルアップをはかりたい学生。「リボン・アートボール」の作品制作を通じて、2020年東京オリンピック・パラリンピックの「文化プログラム」に参加したい学生。
成績評価方法	授業出席カード裏のコメント (70%)、レポート課題 (30%) を総合的に判断して評価します。
授業外における学習方法	芸術作品の鑑賞とスポーツ観戦を勧めます。前者では「動き」の表現に、後者ではアスリートの動きはもちろんのこと、ユニフォームやボール、シューズ、チケット、ポスター、スタジアムなど、様々なところに用いられている「デザイン」に注目してください。
教材・参考文献	必要に応じてプリント配布および資料を紹介します。
オフィスアワー・連絡先	随時 (メールで予約)
履修者へのメッセージ	皆さんが日頃、専門的に学んでいるものを「縦系」だとすると、この授業は「横系」になります。別の言い方をすれば、1つの専門を学ぶスタイルを「I型」とすると、他の領域も学ぶスタイルは「T型」ともいえるでしょう。さらに複数の専門、複数の他領域を習得できれば「井型」になります。芸術と体育領域を持つ総合大学である筑波大学ならではの授業を受講して、皆さんらしい「T-スタイルの布」を織ってみませんか。

授業科目名	社会のなかの建築デザイン		
科目番号	1E25011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	秋 A 火 1,2
担当教員	貝島 桃代, 加藤 研		
授業概要	デザインに何が出来るのか? 社会との関わりについて、建築デザインの観点から、デザインの可能性を探る。		
備考	(芸術開設)平成 28 年度までの「社会のなかのデザイン」を修得済みの学生は履修できません【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	E		
水準・区分			
教育目的	建築デザインと社会の関わりを理解する。		
到達目標	1. 地域社会や生活環境における建築デザインの役割を知ること 2. 建築デザインの果たすべき役割と責任について理解すること 3. 建築デザインへの興味・関心を発展させること		
キーワード	建築デザイン, 社会, 地域, 環境, 公共空間, 震災復興		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 2 日 貝島 桃代・加藤 研 芸術系】 [オリエンテーション・地域における建築デザイン 1] 建築デザインと社会について地域の事例をもとに概説する</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 2 日 貝島 桃代・加藤 研 芸術系】 [地域における建築デザイン 2] 建築デザインと社会について地域の事例をもとに概説する</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 16 日 加藤 研 芸術系】 [建築と環境 1] 建築プロジェクトの設計プロセスを解説し、建築と環境の関係をめぐる建築家の思考を講述する</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 16 日 加藤 研 芸術系】 [建築と環境 2] 建築プロジェクトの設計プロセスを解説し、建築と環境の関係をめぐる建築家の思考を講述する</p> <hr/> <p>第 5 回【10 月 23 日 加藤 研 芸術系】 [建築の公共空間 1] 建築がつくる公共空間について、主に近年の事例を参照して講述する</p> <hr/> <p>第 6 回【10 月 23 日 加藤 研 芸術系】 [建築の公共空間 2] 建築がつくる公共空間について、主に近年の事例を参照して講述する</p> <hr/> <p>第 7 回【10 月 30 日 貝島 桃代・加藤 研 芸術系】 [建築デザインと社会 1] 建築デザインと社会について事例をもとに概説する</p> <hr/> <p>第 8 回【10 月 30 日 貝島 桃代・加藤 研 芸術系】 [建築デザインと社会 2] 建築デザインと社会について事例をもとに概説する</p> <hr/> <p>第 9 回【11 月 6 日 貝島 桃代 芸術系】 [震災復興における建築デザイン 1] 東日本大震災で大きな被害を受けた漁村集落の再生支援プロジェクトについて解説する</p> <hr/> <p>第 10 回【11 月 6 日 貝島 桃代 芸術系】 [震災復興における建築デザイン 2・テスト] 東日本大震災で大きな被害を受けた漁村集落の再生支援プロジェクトについて解説する</p>		
履修条件	特になし		
成績評価方法	定期試験 (100%)・・・課題に対しての展開能力と独創性 出席 (欠格条件)・・・2/3 以上の出席		
授業外における学習方法	授業で取り上げたデザインの対象や問題について、身近な生活環境において確認するなどして、問題意識を深めること。		
教材・参考文献	1. 必要に応じて授業中に紹介する。		
オフィスアワー・連絡先	貝島 桃代 mkajijima at rg7.so-net.ne.jp http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~mkajijima/ 加藤 研 o-kato at geijutsu.tsukuba.ac.jp		

履修者へのメッセージ	遅刻 2 回は欠席 1 回として扱う。授業に集中して、積極的に質問してください。
------------	--

授業科目名	比較文化の探求—名著のすずめ—		
科目番号	1E02031	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	嚴 錫仁		
授業概要	人文・文化研究において、文献との出会いは重要である。感銘を受け、学問的に刺激された文献は、研究上のみならず、その人の生き方にも影響を与えることがある。本講義では、グローバル時代において比較文化を探究する教員が自ら選んだ、学生必読の文献を紹介しつつ、高度かつ専門的な視野から文化を読み解く方法を考えていく。		
備考	(比文開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	E		
水準・区分			
教育目的	人文・文化研究において、文献との出会いは重要である。感銘を受け、学問的に刺激された文献は、研究上のみならず、その人の生き方にも影響を与えることがある。本講義では、グローバル時代において比較文化を探究する教員が自ら選んだ、学生必読の文献を紹介しつつ、高度かつ専門的な視野から文化を読み解く方法を考えていく。		
到達目標	1. 文献との出会いが研究者にとってどのような意義をもつものか知る。 2. これまで関心のなかった領域の文献を実際に手にとって読み、自分の専門領域とのつながりを見出す。 3. 継続的に文献探索を行い、自らの研究を導いていくような一冊と出会う。		
キーワード	文化、文化研究、名著		
各回授業計画	<p>第1回【10月1日 嚴 錫仁 人文社会系】 『老子』現代における無為自然の境位を考える。</p> <hr/> <p>第2回【10月9日 ヘーゼルハウス、ヘラト 人文社会系】 TANAKH and TALMUD - Judaism's Contribution to the World: The Art of Interpretation.</p> <hr/> <p>第3回【10月15日 馬場美佳 人文社会系】 『明治の文学』全25巻 維新百五十年目に文学の維新を考える。</p> <hr/> <p>第4回【10月22日 徳丸亜紀 人文社会系】 柳田國男『遠野物語』柳田國男の著作から『遠野物語』を取り上げ、明治という時代状況の中で示された心意について民俗学の立場から考察する。</p> <hr/> <p>第5回【10月29日 吉森佳奈子 人文社会系】 『源氏物語』『源氏物語』をよむ。</p> <hr/> <p>第6回【11月12日 小松建男 人文社会系】 小川環樹訳『三国志(三国志演義)』(岩波文庫)の注釈と解説こそが私の原点だということを話してみたいと思います。</p> <hr/> <p>第7回【11月19日 塩谷哲史 人文社会系】 V. V. バルトロド『トルキスタン文化史』ソ連解体とともに独立した中央アジア諸国の歴史的、文化的基層を探る。</p> <hr/> <p>第8回【11月26日 山中 弘 人文社会系】 マックス・ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』宗教と資本主義形成の深い関係をスリリングに解き明かしてくれたウェーバーの古典的著作を通じて、宗教社会学のおもしろさを味わってみよう。</p> <hr/> <p>第9回【12月3日 津城寛文 人文社会系】 マックス・ミュラー『人生の夕べに』(つくばりポジトリ)比較宗教という発想の原点を顧みる。 *テキストはつくばりポジトリ版『人生の夕べに』を用いるので、画面が見やすい端末を準備してください。</p> <hr/> <p>第10回【12月10日 石塚 修 人文社会系】 鈴木孝夫『ことばと文化』(岩波新書)人間が人間である根拠として「言語の使用」があげられる。その人間が社会で生きている以上、社会と言語との関係は切り離せない。その社会は地域・民族などの共同体でもあり、それゆえに言語は文化と密接な関係を持たざるをえない。グローバル化のなかで、言語と文化の関係性についての理解は国際社会での活躍のために不可欠の教養なのである。</p>		

	第11回【12月17日 期末試験】
履修条件	特になし。
成績評価方法	期末試験によって評価する。
授業外における学習方法	授業内で取り上げられたり推薦された本を読むこと。
教材・参考文献	*比較文化学類 HP「お薦め図書リスト」ここには比較文化学類の各コース向けの推薦図書とともに、全学学生向けの推薦図書も記載されています。 *12月3日授業のマックス・ミュラー『人生の夕べに』のテキストは、つくばりポジトリ版『人生の夕べに』を用いるので、画面が見やすい端末を準備してください。 *10月9日のヘーゼルハウス先生の授業を受ける当たっては、前もって旧約聖書の以下の部分を読んでおいてください。 about Adam and Eve (Genesis 1-3) 創世記 第1章-第3章 about Isaac's Sacrifice (Genesis 22) 創世記 第22章 about Joseph's dream interpretation (Genesis 37-41) 創世記 第37章-第41章 about Moses and the Exodus from Egypt (Exodus 1-14) 出エジプト記 第1章-第14章
オフィスアワー・連絡先	授業時に知らせる。
履修者へのメッセージ	今まで手に取ったことのない本を読んで世界を広げて下さい。

授業科目名	学校を考える III		
科目番号	1E06011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	佐藤 博志		
授業概要	教育に関する言説が社会に流布している。その中でも、ゆとり概念に着目し、言説を批判的に検討する。今日の教育改革の動向を検討し、ゆとり批判の様々な影響についても考察する。PISA2015の結果を含めて国際比較の視点も組み込みつつ、グローバルに日本の教育改革を検討する。最終的には、教育と世代論に関する見方の視野を広げることを意図している(前半)。さらに、「ゆとり」概念を相対化するための手法として「クリエイティブな教師」の在り方について学ぶことも意図している(後半)。受講生がこれまでの大学生活で培ってきた知識、能力、経験を活用しつつ、自らが社会人や教師になった時の立場も仮定することによって、言説、学校教育、教師の問題を解き明かし、高度な教養の習得を目指す。		
備考	(教育開設) 人間学群学生の受講は認めない。講義の一部にディスカッションを取り入れるため、受入れ上限数を 80 名とする。平成 28 年度と平成 27 年度に科目番号 1B06031「学校を考える III」(総合科目 II)の単位を修得した学生は、この授業の履修を認めない。		
授業形態	講義		
科目群	E		
水準・区分	総合科目 III、科目群 E、3・4 年次対象		
教育目的	「ゆとり教育、ゆとり世代」の意味、妥当性、影響について、国際比較等、多様な視点から考察し、日本の教育改革の在り方について考察できるようにする。教育と世代論に関する見方の視野を広げて、いわゆる「ゆとり」概念について他者に説明できる能力を習得することを意図している(前半)。さらに、「ゆとり」概念を相対化するための手法として「クリエイティブな教師」の在り方について学ぶことも意図している(後半)。		
到達目標	受講生がこれまでの大学生活で培ってきた知識、能力、経験を活用しつつ、自らが社会人や教師になった時の立場等も仮定することによって、言説、学校教育、教師の問題を解き明かし、高度な教養の習得を目指す。		
キーワード	グローバル化と教育、カリキュラムの政策と構造、学力の国際比較、教育言説と世代論、「ゆとり教育」、「ゆとり世代」、「クリエイティブな教師」		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 1 日(佐藤博志 人間系)】 [オリエンテーション] 本授業のねらいと進め方について説明し、授業への導入を図る。</p> <p>第 2 回【10 月 9 日(佐藤博志 人間系)】 [教育施策のコンセプトを読む(1)] 教育行政とカリキュラムの観点から「ゆとり教育」に解説する。受講生は、これまでの 1,2 年次の学習経験を活用し、自分の意見を考える。</p> <p>第 3 回【10 月 15 日(佐藤博志 人間系)】 [教育施策のコンセプトを読む(2)] 教育行政とカリキュラムの観点から「ゆとり教育」を解説する。受講生は、グローバルな社会情勢と国際比較の視点から思考し、自分の意見を考える。</p> <p>第 4 回【10 月 22 日(佐藤博志 人間系)】 [「ゆとり教育」の正体(1)] 学力の推移の実際を示し、世代論について考える。受講生は、これまでの 1,2 年次の様々な活動経験(学習、課外活動など)や人々との出会いと交流を振り返り、自分の意見を考える。</p> <p>第 5 回【10 月 29 日(佐藤博志 人間系)】 [「ゆとり教育」の正体(2)] 学力の推移の実際を示し、世代論について考える。受講生は、自分が社会人になった時のことや外国の人に日本の状況を説明する立場になったことを仮定し、広い視野から自分の意見を考える。</p> <p>第 6 回【11 月 12 日(佐藤博志 人間系)】 ゆとり本の続編である「クリエイティブな教師になろう」を読み、これからの教師について考える(1)。</p> <p>第 7 回【11 月 19 日(佐藤博志 人間系)】 ゆとり本の続編である「クリエイティブな教師になろう」を読み、これからの教師について考える(2)。</p>		

	<p>第 8 回【11 月 26 日(佐藤博志 人間系)】 ゆとり本の続編である「クリエイティブな教師になろう」を読み、これからの教師について考える(3)。</p> <p>第 9 回【12 月 3 日(佐藤博志 人間系)】 ゆとり本の続編である「クリエイティブな教師になろう」を読み、これからの教師について考える(4)。</p> <p>第 10 回【12 月 10 日(佐藤博志 人間系)】 [まとめ] 授業のまとめを行う(内容等の調整を含む)。</p> <p>第 11 回【12 月 17 日(佐藤博志 人間系)】 [期末試験] 講義内容は継続的に進行するので、安易な欠席は認められない。</p>
履修条件	人間学群学生の受講は認めない。講義の一部にディスカッションを取り入れるため、受入れ上限数を 80 名とする。平成 28 年度と平成 27 年度に科目番号 1B06031「学校を考える III」(総合科目 II)の単位を修得した学生は、この授業の履修を認めない。教育と社会に関する問題に関心があること、及び学習意欲があることを履修の条件にする。
成績評価方法	レポート:50% 期末試験:50%
授業外における学習方法	新聞における教育関連記事はできるだけ読むこと。関連する事項を図書、論文等を通して積極的に学習すること。
教材・参考文献	下記の図書(教科書及びレポート課題図書)を必携とする。授業は教科書に基づいて進むので必ず準備してください。 1. 佐藤博志,『クリエイティブな教師になろう』学文社,2018 年
オフィスアワー・連絡先	研究室を訪問する場合、メールで事前に連絡をとってください。 簡単な事柄であれば、授業終了後に聞いてください。 メールで済む質問であれば、メールでの対応も可能です。 h-sato at human.tsukuba.ac.jp http://www.human.tsukuba.ac.jp/education/institute/staff/name/%E4%BD%90%E8%97%A4%E5%8D%9A%E5%BF%97
履修者へのメッセージ	高校時代までの経験を振り返るとともに、1,2 年次に学習した知識や思考を基礎に、教育をめぐる諸問題について考察してください。

授業科目名	言語と社会		
科目番号	1E01011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	秋 C 月 1,2
担当教員	加賀 信広, 大矢 俊明		
授業概要	我々は言語によって世界を捉え、思いを表現しながら社会生活を営んでいる。言語と社会の関係に関わるさまざまな側面について、特に教育・文化・情報等の学際的な視点から考察する。		
備考	(人文開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	E		
水準・区分			
教育目的	人間の様々な活動に深く関わる言語の諸相をとくに社会との関係において広く考察することで、幅広い視野と学際的なものの見方を涵養する。		
到達目標	1. 言語と社会の関係を学際的視点から捉え、言語に関わる研究領域の広がりを認識する。 2. 言語使用と言語使用者の観点から、言語と人間生活に関わる諸問題について考察する。 3. 専門教育を補うような、幅広く奥深い関心を身につける。		
キーワード	文化・社会, 第二言語習得, 英語リーディング, ICT 技術, 比喩, 中国語, ドイツ語, 日常会話, 電子メディア, デジタル・ヒューマニティーズ		
各回授業計画	<p>第1回【1月7日1限 廣瀬幸生 人文社会系】 [言語・認知・文化] ことばは、それを話す人のこころや、それが話されている文化・社会のありようを映し出す。言語から認知や文化の問題に迫る方法について、具体的に論じる。</p> <p>第2回【1月7日2限 久保田章 人文社会系】 [英語学習の助所] 外国語としての英語の難しさについて、これまでの第二言語習得研究の成果を背景として、特に社会文化的な観点から検討する。</p> <p>第3回【1月15日(振替授業日)1限 田川拓海 人文社会系】 [電子メディアとことばと行為] 電子メディアはその発達・多様化によって、私たちの日常生活において存在感を増すとともに、ことばにも大きな影響を与えている。実際の言語表現の観察を通して、メディアとことばと行為の関係、特に書きことばと話しことばの接近について考える。</p> <p>第4回【1月15日(振替授業日)2限 小野雄一 人文社会系】 [言語と ICT] 近年のコンピュータ技術、ICT 技術の発展が、言語研究、言語教育分野に大きな影響を与えている。本講義では、情報学、教育工学分野の研究の成果に言及しつつ、言語研究にどのような形で影響を与えているかに関して、自動翻訳、音声認識などのアプリケーションを例に解説する。</p> <p>第5回【1月23日(授業振替日)1限 池田晋 人文社会系】 [中国語の「繰り返し表現」] 中国語の「繰り返し表現」に関する興味深い現象を紹介し、その謎を解明するヒントが実生活における我々の「モノの見方」の中に隠されていることを論じる。</p> <p>第6回【1月23日(授業振替日)2限 木田剛 人文社会系】 [言語とグローバル経済] 日本に住むわれわれが将来のことを考えながら外国語を選択しているように、近年の世界の言語状況は社会的、経済的、政治的要因など、様々な影響のもとで変容している。多言語社会の西アフリカを事例にとり、このような言語と社会の関係を考察する。</p> <p>第7回【1月28日1限 平井明代 人文社会系】 [英語の発表能力と評価] 英文を読むことにはある程度できるが、英語で話す・書くのは苦手と感じる人が多いのではないだろうか。講義では英語の発表能力の習得理論とその能力の評価方法に関して考察する。</p> <p>第8回【1月28日2限 高木智世 人文社会系】 [日常会話の科学] 日常会話は、実は、「無秩序なおしゃべり」ではなく、極めて緻密に秩序立てられた社会的相互行為である。日常会話の分析を通して、言語使用能力を含めた人間の相互行為能力の奥深さに迫る。</p>		

	<p>第9回【2月4日1限 卯城祐司 人文社会系】 [英語リーディングの科学] 英文読解では「読めたつもり」でも、新たな問いを出されたたとたん、理解できていないことに気づくことがある。この謎を体感しつつ「英語リーディングの科学」を検証する。</p> <p>第10回【2月4日2限 和氣愛仁 人文社会系】 [デジタル・ヒューマニティーズと歴史・言語・文化] 人文科学と情報科学の学際的な研究領域として、デジタル・ヒューマニティーズ(人文情報学)と呼ばれる分野がある。歴史・言語・文化等と情報技術との関わりを中心に、デジタル・ヒューマニティーズのミッションや具体的な実践例、共同研究の重要性等について述べる。</p> <p>第11回試験は実施せず、レポートを課す。</p>
履修条件	総合科目 II の「言語の万華鏡 I,II」を受講しておくこと、言語に関してより総合的な理解が得られる。
成績評価方法	課題(学期末に出題する)に対するレポートの成績により評価する。なお、授業回数3分の2以上の出席をしていない履修者は成績評価の対象とならない。
授業外における学習方法	毎回の授業で紹介された資料や文献を読み解き、幅広い関心と問題解決の方法を身につける。
教材・参考文献	教科書は使用しない。毎回の授業でハンドアウトを配布し、参考文献を紹介する。
オフィスアワー・連絡先	加賀 信広 火曜日 4 時限目 人文社会系棟 B506 kaga.nobuhiro.gb at u.tsukuba.ac.jp 大矢 俊明 火:予約により随時 木:11:30~12:00 人文社会系棟 A611 oya.toshiaki.jp at u.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	何事も積極的な関心をもって取り組み、何かが得られるはずです。総合科目もそのような姿勢で臨んでください。

授業科目名	食文化からみる民族と歴史		
科目番号	1E01021	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	秋 C 月 1,2
担当教員	村上 宏昭		
授業概要	私たち人間にとって生の根源である食とそれに関わる食文化は、民族によって実に多様で、そこには豊かな世界が形成されている。本授業では、「食」をキーワードに、民族とその背後にある文化を掘り下げ、さらにそこから歴史をどう読み取るのか、また、食文化の中に多様性/共通性が生まれた背景は何であるのかに迫っていくことを目的とする。		
備考	(人文開設) 西暦偶数年度開講。 【受け入れ上限 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	E		
水準・区分			
教育目的	「食」という身近な営みから、世界の多様な民族と文化について理解したうえで、食文化の中に多様性/共通性が生まれ変化しつつある背景をいかに歴史のコンテキストで読み取ることができるか。		
到達目標	「異民族」「異文化」「他者」と「私たち」。排他的に文化を捉えるのではなく、いかに多様なものを選択、受容しつつ歴史が動的に変容してきたのか・しているのかを知り、地理的な広がりや時間軸を自在に扱いつつ歴史を俯瞰できる。		
キーワード	食、民族、文化、歴史、地域、「伝統」、宗教、政治、多様性		
各回授業計画	<p>第 1 回【1 月 7 日 村上宏昭 人文社会系】 [食文化と歴史・民族] 歴史、民族の問題を食という視点から考察する。この授業のイントロダクションとする。</p> <hr/> <p>第 2 回【1 月 7 日 村上宏昭 人文社会系】 [居酒屋の文化史] 居酒屋という飲食の公共空間から 19 世紀ヨーロッパにおける労働者階級の文化を考察する。</p> <hr/> <p>第 3 回【1 月 15 日 (振替授業日) 非常勤講師】 [??] ???</p> <hr/> <p>第 4 回【1 月 15 日 (振替授業日) 佐藤千登勢 人文社会系】 [アメリカの食文化] 「フード・アクティビスト」として知られているアリス・ウォータースの生涯に焦点を当てながら、アメリカの食文化の歴史的な変容を検討する。</p> <hr/> <p>第 5 回【1 月 23 日 (振替授業日) 中野泰 人文社会系】 [韓半島の食と文化] 韓半島の食文化の概観をしながら、日常の食膳や実際の儀礼を取り上げ、食膳の型や構造を考察する。</p> <hr/> <p>第 6 回【1 月 23 日 (振替授業日) 中西僚太郎 人文社会系】 [伝統的な日本の主食物とその地域性] 一般に、日本における伝統的な代表的な主食物は米であったと考えられているが、実際に米はどれくらい食べられていたのか。米以外の主食物としてはどのようなものがあつたのかについて、その地域性に着目しながら検討する。</p> <hr/> <p>第 7 回【1 月 28 日 丸山宏 人文社会系】 [現代的視点からみる古代中国の食文化] 古代中国の食材と調理、食器、食事マナー、食に対する思想などを現代的視点から検討し、特徴と意義を考察する。</p> <hr/> <p>第 8 回【1 月 28 日 柴田大輔 人文社会系】 [古代メソポタミアの食と政治] アッシリア帝国における王の食事 (供物) について、帝国の政治力学に着目しながら講義する。</p> <hr/> <p>第 9 回【2 月 4 日 山田重郎 人文社会系】 [ユダヤ教の食物規定] ユダヤ教における食物をめぐる禁止事項や諸規定を紹介し、その思想的背景と宗教社会的・歴史の意味を考える。</p>		

	第 10 回【2 月 4 日 村上宏昭 人文社会系】 [期末試験]
履修条件	受け入れ上限【120 名】
成績評価方法	期末試験
授業外における学習方法	授業で紹介された文献、資料を読み解き、自ら好奇心を持って探求する。
教材・参考文献	授業内で適宜配付、提示する。
オフィスアワー・連絡先	火曜 15:15-16:30 murakami.hiroaki.gt*u.tsukuba.ac.jp(*を@に置き換える)
履修者へのメッセージ	食というきわめて身近な事象の中に、文化や民族を理解するための重要な手がかりが潜んでいることに気付き、食文化に対する認識を新たにして欲しい。

授業科目名	個人情報保護		
科目番号	1E04021	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	秋 C 火 1,2
担当教員	星野 豊		
授業概要	個人情報保護制度と現状の問題点について解説する。		
備考	(社会学類開設)【受入上限は一応 350 人としておくが、仮に超えたとしても受講制限はしない予定。】		
授業形態	講義		
科目群	3-4 年生向け総合科目。必ずしも法学を専攻している必要はないが、知識のない部分については自習を前提とする。		
水準・区分	法学の専門講義と同レベル。		
教育目的	公私を問わずどのような職場でも必要となる個人情報保護について、現状の問題点を認識する。		
到達目標	個人情報保護について、正確な現行法の知識と、生じうる問題点とを認識すること。		
キーワード	個人情報保護, 情報公開, 個人番号		
各回授業計画	<p>基本的な知識を解説した後、具体的な事件を例として、受講者に意見を求める形式で進行する。事件の内容については、初回に出席者の意見を聞いたうえで決定する。なお、講義及び成績評価は全て星野が単独で担当する。</p> <p>第 1 回【1 月 8 日(火)】 個人情報保護の基礎知識の解説。 個人情報保護事案の具体例 (1)</p> <hr/> <p>第 2 回【1 月 22 日(火)】 個人情報保護事案の具体例 (2)(3)</p> <hr/> <p>第 3 回【1 月 29 日(火)】 個人情報保護事案の具体例 (4)(5)</p> <hr/> <p>第 4 回【2 月 5 日(火)】 個人情報保護事案の具体例 (6)(7)</p> <hr/> <p>第 5 回【2 月 12 日(火)】 (予備日)</p>		
履修条件	特になし。但し、個人情報保護以外の法律に関する知識については、適宜自習のこと。		
成績評価方法	1 件当たり 2500 字程度のレポートを 7 件課す。課題については、開講時に説明する。		
授業外における学習方法	関連事情について広く自習することを勧める。		
教材・参考文献	参考書、解説書は多数出ているので、各自で調査するとよい。但し、中身は玉石混交であるので、早まって買い込み過ぎないように注意されたい。		
オフィスアワー・連絡先	メールにて事前連絡をしていただき、都度日時を確定させる hoshino.yutaka.gm at u.tsukuba.ac.jp		
履修者へのメッセージ	どの方面に進んでも、おおよそ事業に携わる限り、常に必要となる分野であるので、興味があればぜひ履修されたい。		

授業科目名	経済学入門 III		
科目番号	1E17011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	秋 C 火 3,4
担当教員	佐野 幸恵, 秋山 英三		
授業概要	ミクロとマクロをつないできた統計物理学を背景に、近年発展してきた「社会経済物理」について、その歴史的な流れから最先端の話題まで紹介します。		
備考	(土工開設)【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	E		
水準・区分			
教育目的	物理学や経済学を学んだことがない学類 3・4 年生が、それらの基本的な概念を身につけ、社会経済物理の考え方で、社会経済を新たな視点で見られるようになること。		
到達目標	社会経済物理の基本概念を理解し、関連するキーワード(べき分布、フラクタル、エントロピーなど)を列記できる。		
キーワード	社会経済物理, ネットワーク科学, ソーシャルメディア		
各回授業計画	<p>第 1 回【1 月 8 日 佐野幸恵 システム情報系】 [社会経済物理とは何か?1] 「社会経済物理」について概観する。</p> <hr/> <p>第 2 回【1 月 8 日 佐野幸恵 システム情報系】 [社会経済物理とは何か?2] ビッグデータによって、社会経済物理がどう発展してきたかを説明する。</p> <hr/> <p>第 3 回【1 月 22 日 佐野幸恵 システム情報系】 [確率の基礎 1] サイコロを使いながら、実際に手を動かして確率の基礎を復習する。</p> <hr/> <p>第 4 回【1 月 22 日 佐野幸恵 システム情報系】 [確率の基礎 2] 正規分布や指数分布が現れるメカニズムについて説明する。</p> <hr/> <p>第 5 回【1 月 29 日 佐野幸恵 システム情報系】 [集合知とソーシャルメディア 1] 集合知とは何か、実際に手を動かしながら経験する。</p> <hr/> <p>第 6 回【1 月 29 日 佐野幸恵 システム情報系】 [集合知とソーシャルメディア 2] 集合知とソーシャルメディアについて実例を挙げながら説明する。</p> <hr/> <p>第 7 回【2 月 5 日 佐野幸恵 システム情報系】 [ネットワーク科学の基礎 1] 企業間取引から生物の代謝まで、複雑ネットワークの基礎について説明する。</p> <hr/> <p>第 8 回【2 月 5 日 佐野幸恵 システム情報系】 [ネットワーク科学の基礎 2] ネットワークを特徴付ける様々な指標について説明する。</p> <hr/> <p>第 9 回【2 月 12 日 佐野幸恵 システム情報系】 [まとめ] 外部講師を招き、授業内容のまとめを行う。</p> <hr/> <p>第 10 回【2 月 12 日 佐野幸恵 システム情報系】 [まとめ] 外部講師を招き、授業内容のまとめを行う。</p>		
履修条件	3・4 年生		
成績評価方法	A:レポート(40%)・・・理解、応用力、創造性 B:授業内提出物(60%)・・・トピックへの興味と関心、考察力		
授業外における学習方法	授業時間内で、適宜文献を紹介する。		
教材・参考文献	教科書は特に指定しない。		
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは授業第 1 回目に連絡する。 佐野 幸恵 sano at sk.tsukuba.ac.jp infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/~sano/		

履修者へのメッセージ	社会経済と物理という、一見、関連性のない 2 つの分野を自在に行き来しながら、世の中を新たな視点で見よう。ぜひ、幅広い興味を持って取り組んでください。
------------	---